

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 岐阜北高等学校 学校運営協議会（第2回）
- 2 開催日時 令和7年11月7日（金）14：00～16：00（学校公開日）
- 3 開催場所 岐阜北高等学校校長室
開催にあたり、委員による授業参観を実施した
- 4 参加者

会長	村瀬 忍	岐阜大学教授
副会長	飯尾 龍也	PTA会長
会員	可児 さおり	保護司（早田自治会）
	澤井 隆彰	人材育成コンサルタント
	高崎 将太郎	岐阜青年会議所理事
	高橋 信明	則武自治会連合会長（欠席）
	西川 光美	令和3年度PTA会長（欠席）
	古田 菜穂子	同窓会（北斗会顧問）

学校側	上田 和伸	校長
	小島 和秀	教頭
	三浦 昇太郎	教頭
	小枝 千穂	教務主任
	坪内 有美子	進路指導部長
	小川 泰史	生徒指導副部長

5 会議の内容（協議事項）

（1）授業について

意見1：授業において教員が合図をするとすぐに生徒同士が話し合えるという形が定着しており良かった。仲間とコミュニケーションをとれることはとても大切である。

意見2：授業でのやり取りを見て生徒と教員が良い人間関係を築けていることがわかる。

意見3：探究学習の授業を参観して、生徒がそのテーマを深掘りしていく様子が見受けられ大変興味深かった。

意見4：生徒は、探究学習へ積極的に取り組んでおり、各班のテーマや方法のレベルが高くなっている。

意見5：探究学習における活動を見学して、生徒の言語化能力の高さを感じた。更に自発的な部分を磨き、自己理解を深めながら言語化できるとレベルアップするのではないか。

意見6：この時限の授業参観では、生徒の受け身的な授業が多かった。生徒が自発的にディスカッションできるような授業を更に増やしてほしい。

(2) 学校評価アンケートについて

意見 1 : 保護者の学校評価アンケート回答率が高いことは、本校を誇りに思っている保護者が多く、本校に対し興味関心があることの表れである。アンケート実施に際して回答率を高めるための特別な工夫はしているか。

→学校独自で利用している生徒・保護者への連絡ツールが定着したこと及び保護者の学校に対する関心が非常に高いことが回答率の高い理由である。

意見 2 : 生徒の学校評価アンケート回答率がやや少ないのではないかと。生徒に当事者として問題意識を持たせる指導が必要である。

→回答率の上がる工夫をしていきたい。

意見 3 : 生徒アンケートの「体罰やハラスメントはない」項目で否定的な意見が若干名いる。小さい芽のうちに摘むという意味で対象となる生徒を見逃さずに指導をするために保健室や教育相談室などの生徒が相談しやすい環境作りは重要である。

意見 4 : アンケートの保護者と生徒の回答の乖離は、言葉の理解の違いに原因がある。保健室や教育相談室が利用しやすいアンケート結果など種々の捉え方ができるので、結果に囚われすぎず、参考にする程度でよいのではないかと。

(3) その他

意見 1 : 大学生が自分たちで課題を見つけて進めていくとき、自己理解ができていないと感じる場合が多くある。大学入学前に、自分を多面的に理解するということを身に付けてきてほしい。

意見 2 : 障がいのある生徒が大きな問題もなく学校生活を送れているようだ。周囲の教員や生徒のサポートはどのように行っているか。

→合理的配慮として学校ができることは最大限サポートしている。特別なことをしているというわけではないが、できることを確実に丁寧に行っている。

意見 3 : 「がやがや会議」に参加し、自分の発言で学校の何かが変わるかもしれないという希望があれば、会議に参加する生徒がさらに増えるのではないかと。

意見 4 : 「がやがや会議」を通して学校が変わっていくという体験は、これからの社会や自分たちの未来への生徒の関わり方を学ぶ良い機会となっている。

6 会議のまとめ

第2回の学校運営協議会は、学校公開日と同日に実施した。保護者や地域の方々と同じように授業を参観した後、本校の10月までの取組状況について学校職員より説明したうえで、協議した。本校の取組について高い評価が得られるとともに、今後の本校の教育活動について示唆に富むご助言を得ることができた。